

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	地域人材による魅力創造事業			事業番号	25-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部	宋戸晴一(企画部長事務取扱副市長)	広報戦略課	大町 徹	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	11	多くの人を訪れる賑わいのあるまちをつくる	
		施策	25	シティプロモーションの推進	
予算事業名	シティプロモーション活動事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成29年度 ~		終了年度	
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	いせはらシティプロモーション推進計画			計画期間	平成27年度～令和元年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	若者がSNSを使って自己表現をしたり、仲間や社会との繋がりを構築するようになっていきます。また、他市町村で生まれ育った市職員の割合が高くなってきています。				
目的 (何をどうしたいのか)	若い世代の活力を生かすとともに、シティプロモーションを担う人材を育成しながら、地域の新たな魅力を発掘・磨き上げ・創造するシティプロモーション活動を実施します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民、学校、企業、関係団体、他市町村住民				
事業内容 (手段、手法など)	教育機関との連携により、若い世代のアイデア等を活用し、地域の魅力の掘り起こしや創造に繋がるシティプロモーション活動を展開するとともに、伊勢原をより深く知るための自主的なプロモーション活動を支援します。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	大学等との連携	動画作成	動画配信	動画配信	
	市民・団体等との連携	SNS配信等	SNS配信等	SNS配信等	
職員グループへの活動支援	イベント協力	イベント協力	イベント協力		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	プロモーション公認サポーター数	25団体(個人) (平成28年度)	40団体(個人)	42団体(個人)	44団体(個人)



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	若者のアイデアやスキルを生かした短編動画を制作し、効果的な配信に取り組み、市内外に対して、強く「いせはら」の発信に努めます。 また、市民等におけるシティプロモーション活動の担い手として、シティプロモーション公認サポーターの認定を推進し、SNS等を活用した連携強化を展開します。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施		<input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		具体的内容		大学、市民・団体等との連携による
実施結果	項目		年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	大学等との連携		動画作成	動画作成・配信	
	市民・団体等との連携		SNS配信等	SNS配信等	
	職員グループへの活動支援		イベント協力	イベント協力	
実施した取組の内容	産業能率大学の学生及び向上高等学校放送部と連携し、若者のアイデアを活かしたシティプロモーション動画の作成・配信を行いました。シティプロモーション公認サポーターの活動を市ホームページや公式SNS等で紹介しました。職員グループが実施したイベントについて、消耗品の支援を行いました。				
目標の達成状況	【指標名】		年度		
	【現状値】		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	プロモーション公認サポーター数		25団体(個人) (平成28年度)	49団体(個人)	52団体(個人)

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		13	千円	55	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
	内訳	国県支出金 ①		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
		地方債 ②		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
		その他特財 ③		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源 (a)-①-②-③		13	千円	55	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	国県支出金の内容														
	その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期									
		その他													
	人件費	正規職員		0.04	人	340	千円	0.04	人	348	千円	0	人	0	千円
		その他の職員		0	人	0	千円		人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)		0.04	人	340	千円	0.04	人	348	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)				353	千円			403	千円			0	千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義	年間観光入込客数		単位	年間観光入込客数		単位						
			対象数	1949752		人	1,985,427		人						
総事業費 / 対象数		0		円	0		円								

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	いせはらシティプロモーション推進計画の基本戦略に基づいた取組が着実に実行されました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	公認サポーターの登録数は順調に増加しており、類似した制度を有する近隣自治体と遜色なくプロモーション活動がなされています。今後、SNS等を活用した更なる連携を図ることが必要です。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	地域の活力を高め、若い世代へ伊勢原の魅力PRする手段として有効な事業であり、今後も継続実施する必要があります。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	多額の投資的経費をかけることなく、市民や学生、企業、関係機関を巻き込んだプロモーション活動が行えています。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	シティプロモーション公認サポーターの継続的・効果的な活動促進を図るため、更なる連携・活用方法を構築する必要があります。
令和2年度の取組方針		若者のアイデアやスキルを生かした短編動画を制作し、効果的な配信に取り組み、市内外に対して強く「いせはら」の発信に努めます。 また、市民等におけるシティプロモーション活動の担い手として、シティプロモーション公認サポーターの認定を推進し、SNS等を活用した連携強化を展開します。		
所管部長による総評		学生等と連携したプロモーション動画の制作・配信は、市内外の若い世代に伊勢原の魅力をPRするツールとして有効な事業であり、継続して実施する必要があります。シティプロモーション公認サポーターの登録数も順調に増加しており、シビックプライドを前提としたプロモーション活動がなされていますが、更なる活動促進を図ることが必要です。		